

2019年9月25日

各位

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社

責任銀行原則への署名に関するお知らせ

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(取締役執行役社長:大久保 哲夫、以下「当社」)は、国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)が提唱し、9月22日に発効した「責任銀行原則(PRB: Principles for Responsible Banking)」に署名しましたのでお知らせします。

2019年9月22日ニューヨークにおいて、当社は、SDGs(持続可能な開発目標)及び気候変動に関するパリ協定と整合性をもって戦略的に事業を行うために最大限の努力をすることを表明し、責任銀行原則の発足署名機関となりました。

当社は責任銀行原則の署名機関となることで、持続可能な未来の実現に向けて重要な役割を果たせるよう、資産総額規模にしておよそ47兆米ドルを超える世界の130の銀行と連携することになります。

この原則に署名することにより、当社は、銀行が人々と地球に対して及ぼすポジティブおよびネガティブ・インパクトの両方について透明性を保つことを約束し、本業において最大のインパクトを持つ分野に焦点を当て、積極的な目標を設定し、公表し、実行し、グローバルおよびローカルの目標に沿ってポジティブ・インパクトを拡大しつつ、同時にネガティブ・インパクトへの対処を行うものとします。

SDGs やパリ協定が掲げる課題の解決には、多様なステークホルダーの連携が不可欠であり、とりわけ資金を最適に配分するサステナブル金融の役割は極めて大きいと言えます。三井住友トラスト・グループは、これまでも信託銀行の機能を活用して環境問題の解決に注力するEco Trustutionに注力してきましたが、今後さらにそうした取り組みを加速させ、銀行業界においてリーダーシップを発揮して行きます。

責任銀行原則について

責任銀行原則は、銀行と国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)との革新的なグローバル・パートナーシップを通じて30の創設銀行グループによって開発されました。UNEP FIは、世界中に240以上の金融機関が署名する国連と民間セクターが協働するプラットフォームです。

詳細については、下記をご参照ください。

<https://www.unepfi.org/banking/bankingprinciples/>

以上